

市議会だより さつて



権現堂堤が曼珠沙華のじゅうたんで真っ赤に染まりました。

9月定例会のおもなことから

- ・平成28年9月定例会議案……………2～4ページ
- ・各常任委員会での審議……………5～7ページ
- ・市政に対する一般質問……………8～14ページ
- ・特別委員会報告等……………15ページ
- ・議決結果の一覧、編集後記……………16ページ

No.80
2016年
11月

平成27年度一般会計決算を認定

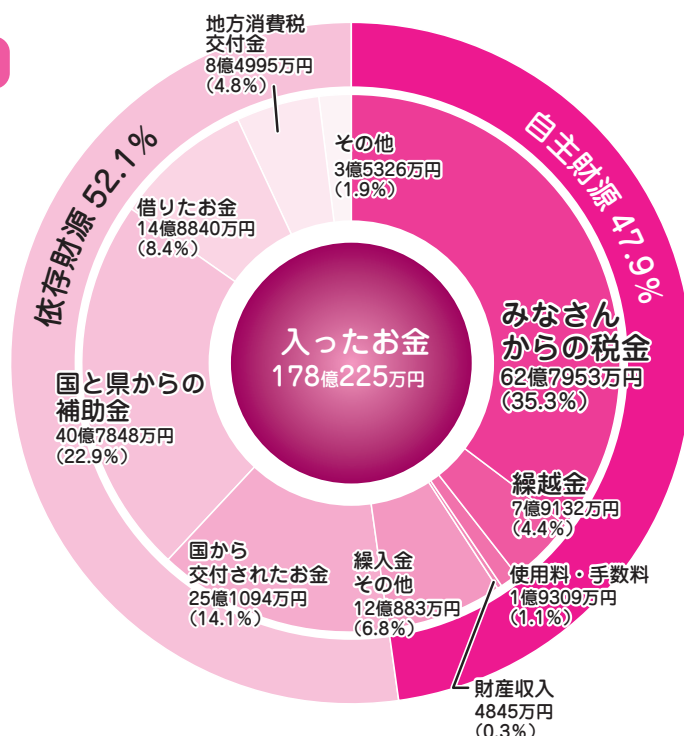
歳入総額 **178億225万円** 歳出総額 **164億2,540万円**
 (前年度比0.5%増) (前年度比3.0%減)

実質収支額（決算余剰金）12億1,534万円

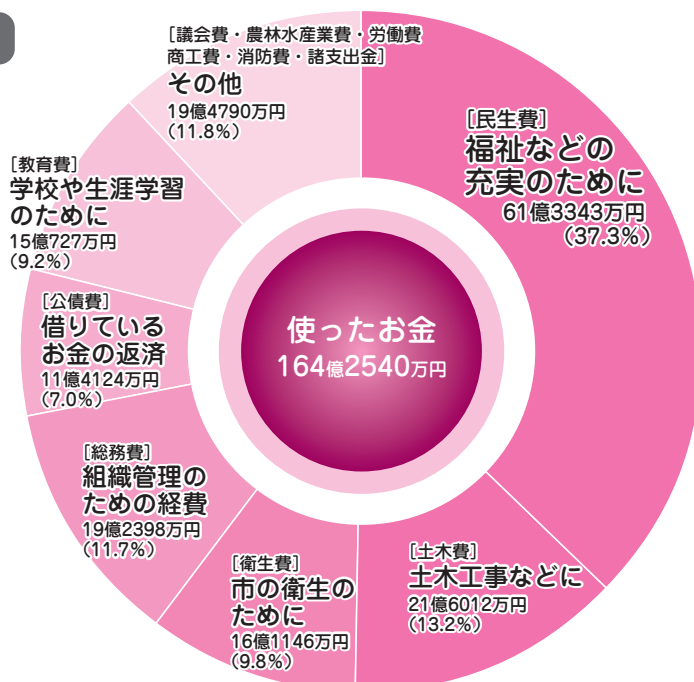
平成27年度一般会計の決算状況

9月定例会

歳入



歳出



平成28年9月定例会は、9月1日から9月30日までの30日間の会期で開かれました。市長提出議案として、決算の認定を求めることについてなど9件、条例案など4件、補正予算8件、および人事案件2件の23議案が提出されました。また、3件の報告がなされました。審議の結果、いずれも原案のとおり認定、可決されました。なお、請願2件も審査され、その他懲罰事件も審議されました。

財政指標

自主財源比率	47.9%
経常収支比率	87.8%
財政力指数	0.719
公債費比率	4.5%

積立金(貯金)と市債(借金)

基金残高	34億2257万円
市債	131億5937万円
債務負担行為	64億 790万円

反対討論

大平泰二

上高野地区土地区画整理組合の設立認可が下りないと知りながら、手島幸成議員の求めに応じ2370万円の予算を付け無駄にしてしまった。問題となったのは、農地を宅地に転用することが殆ど不可能な地域であった事。そのことを市は十分認識していた。さらに、組合組織は私設組織であり、区画整理事業費は自費で行うのが原則であるにもかかわらず、業者への測量・設計費の支払い2370万円を市が肩代わりした。これらの事は認められない。

賛成討論

小林啓子

財政指標の財政力指数は前年度と比較してほぼ同様である。経常収支比率、公債費負担比率については前年度より、改善されている。総務分野では、増加する高齢者を中心に、日常生活を支える交通手段として、デマンド交通システムが導入された。これは公明党が8年来提案してきた事業である。民生分野では、病児保育を開始し、働く家族にとっては大事な事業である。教育分野では、香日向分館に憩いの場所やラウンジも設置された。

反対討論

武藤寿男

評価すべき各種事業もあります。が、3年遡り適用する補助金要綱を定めた補助事業、すべての援助が可能とする、土地区画整理事業助成要綱などを、予算成立後に定め実施し、上位法を順守していると言えない予算執行があります。更に、都市公園等の指定管理業務も指定管理者と代表団体の経理が、明確に区分されているとは言えず、議会審議に圧力的行為をする指定管理者は認め難いことから、本決算の認定には反対いたします。

賛成討論

本田謡子

平成27年度実施主要施策をあげますと、幸手市デマンド交通の導入、バスポート申請や交付業務の開始、第2保育所建設の実施設計、病児保育事業の開始、さくら小と権現堂川小の放課後児童クラブ室設置新設工事、幸手駅橋上化および自由通路整備工事の着手、老朽化した古川橋架け替えのための仮橋設置工事、さつてアフタースクールを3校で実施など、市民生活に直結するサービスを確実に実施していることがうかがわれ、高く評価いたします。

平成27年度その他会計の決算状況

(単位 円)

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	8,622,485,953	8,157,546,868	464,939,085
後期高齢者医療特別会計	479,154,852	475,566,819	3,588,033
介護保険特別会計	3,264,254,822	3,050,884,720	213,370,102
農業集落排水事業特別会計	30,334,890	28,171,090	2,163,800
公共下水道事業特別会計	1,422,942,653	1,314,050,023	72,554,630
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	210,676,402	202,402,156	8,274,246
水道事業会計(収益的収支)	1,166,293,796	1,045,368,476	120,925,320

以上の討論の後、採決の結果、賛成多数により認定されました。

条例案の概要			
(1) 選挙運動用自動車の使用の公営			
ア	自動車の借入れ 1日当たり	改正前： 15,300 円	改正後： 15,800 円
イ	燃料代 1日当たり	改正前： 7,350 円	改正後： 7,560 円 (改正条例第1条関係)
(2) 選挙運動用ポスターの作成の公営			
ア	印刷単価	改正前：510円 48 銭	改正後：525円 6 銭
イ	企画費	改正前： 301,875 円	改正後： 310,500 円 (改正条例第1条関係)
(3) 選挙運動用ビラの作成の公営			
	1枚当たり	改正前： 7円 30 銭	改正後： 7円 51 銭 (改正条例第2条関係)

3年ごとに見直しをされる公職選挙法施行令の一部が改正されたことに伴い、選挙運動に係る公費負担の限度額を国に準じて引き上げるものです。

(議案第61号)
幸手市議会議員及び幸手市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例及び幸手市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例を可決

(請願第1号)
財政支出を大幅削減した幸手駅舎・東西自由通路建設を求める件を不採択

1 請願趣旨

国からの補助金について、55%の補助率の見込みが26%で決定した。

事業の枠組みが財源的に崩れた幸手駅舎・東西自由通路建設事業について、次のとおりの措置をとられるよう、請願いたします。

2 請願項目

東西自由通行が出来るようにし、この通路と駅舎がよりよくつながることに限定し、必要最小限の事業規模に大幅削減するよう要請すること。

が請願され、討論、採決の結果、「賛成少数」で不採択となりました。

(請願第2号)
市の駅舎建設計画の是非を問う住民投票条例の設置を求める件を不採択

1 請願趣旨

国の補助金が事業費の55%から事業費の26%に減額した。

新たな財政負担から住民に直接橋上駅舎建設計画の賛否を問うべきものである。

一般的に住民投票は「住民投票に付する市政に係る重要な事項は、現在又は将来の住民の福祉に重大な影響を与え、又は与える可能性のある事項であって、住民の間、議会若しくは市長の間に意見の相違が認められる状況その他の事情に照らし、住民に直接その賛否を問う必要があるものとする」とされている。

2 請願項目

住民に直接その賛否を問うことから、駅舎建設の是非を問う住民投票条例の設置を行うこと。

が請願され、採決の結果、「賛成少数」で不採択となりました。

大平泰二議員に対する懲罰「戒告」の件を可決

30日の本会議において中村孝子懲罰特別委員長が、審査経過と結果について報告しました。

内容は「大平泰二議員は、平成28年9月5日本会議の一般質問において、不穏当な発言をし、議長から秩序保持権に基づく発言の取消し命令を受けたが、これを拒否した」などの理由により懲罰に科すことに賛成者が多数との報告、委員長報告は、賛成多数で可決となりました。

人事案件

副市長

成田 博 氏

を選任することに同意しました。

教育委員会委員

満木 信吉 氏

を任命することに同意しました。

(選挙第2号)

利根川栗橋流域水防事務組合議会議員の選挙

利根川栗橋流域水防事務組合議会議員1人の補欠選挙を行い、指名推選にて、藤沼貢議員を選出しました。



総務常任委員会

平成27年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定 (議案第53号)

問 ふるさと納税について、寄附金が平成26年と比較すると、約1700万円の減となっているが執行部側としてはどのような原因と捉えているのか。

答 平成26年度と比較して、寄附の件数が約1800件減っている。要因としては、幸手市はそれまで、県内でも寄附金の額、件数は上位をしめていたが、ご承知のとおり、全国的にふるさと納税の件数が加熱している状況にあるため、幸手市の近隣市町もかなり力を入れ始めている。



そのような状況から、県内でもいろいろなところに寄附者が散らばったという分析はしている。

問 教育費県補助金の中で、被災児童生徒就学等支援事業費補助金13万2千円とあるが、1人当たりいくらか。

答 対象は、東日本大震災時に避難してきた中学生1人分である。平成27年度で3年生だったので、その後は対象にならないと考えている。



問 財政運営をするとき、類似団体と比較するのも一つの方法だが埼玉県内で一番近い団体で、標準財政額で近いのは白岡市である。市税割合が51%に対して幸手市は40.7%である。近くの団体の分析はいかがか。

答 要因としては、数年前から認識している。市税等を踏まえた年齢構成が、白岡市は比較的若い。久喜市においても人口規模は違うが、比較的市税納税者の割合を踏まえると、幸手市より年齢層が若いのかと考えている。

問 固定資産税は、埼玉県で比較すると下から2番目ぐらいである。路線価が低い土地であるかもしれないが、今後の見込みに関してはいかがか。

答 固定資産税については、これから工業団地が開業されるので税務課として推計をしてみると、固定資産税で約3億円から4億円は見込めると考えている。固定資産税は比較的安定した財源であるので、その3億円、4億円増えた財源で推移していくと見込んでいる。

問 財政調整基金預金利子については、平成26年度が118万7602円であり約9倍跳ね上がった。その要因は。

答 日銀の金融緩和により低金利が続く中、今までは基金については定期預金を中心に行っていたが、運用効率が低いため昨年、1億円で埼玉県債の20年県債を8月に購入し運用した。利率が普通の預金利子と違い1.216%で普通預金の10倍ほどの利率があったので債券運用をした。今年の2月になり、日銀のマイ

ナス金利政策により、長期金利がだいぶ下がりに逆に債権が上がったことで3月に埼玉県債を売却した。その売却益が4万8千円で、1.216%の利率を入れて、全体では債権のみで915万9276円の運用益確保をすることができた。

平成28年度幸手市一般会計補正予算 (第2号) (議案第65号)

問 公共施設整備基金繰入金の1億5千万円の減額は。

答 当初予算で、平成28年度の西口区画整理の繰出金等に充当するべく取り崩しを予定したが、平成27年度の決算余剰金が出たことで取り崩しの必要性がなくなったので1億5千万円を補正した。

問 1億5千万円は全額区画整理へ予定していたのか。

答 内訳は、西口区画整理に1億2千万円、古川橋の架け替え工事に3千万円を当初予算で予定していた。

文教厚生常任委員会

平成27年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定
(議案第53号)

問 デマンド交通は、利用したい日の朝に電話しても予約がいつぱいで利用できないこと、帰りの時間がわからないので予約が難しいなどの話を聞くが、デマンド交通の受付状況は。

答 時間帯や曜日で偏りがあるが、少しずつ平準化され、若干、予約を取りやすくなると感じる。平成28年度運行のデータや利用者の声などから、見直しは検討していきたい。

問 社会福祉総務費の災害見舞金の支払状況は。

答 関東・東北豪雨の台風18号の影響により、床上浸水した家屋への見舞金が90件で180万円。その他火災による見舞金が4件で44万円である。

平成27年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
(議案第54号)

問 平成27年度の特定健診の受診率は38・5%であったが、その政策評価は。

答 受診率の目標を60%としていたので、まだまだ低いという評価である。

問 受診率を上げる施策は。

答 平成28年度から、各医院で受けられる個別健診の対象年齢を、65歳以上だったものを、40歳以上と範囲を広げたこと。また、PRに務めることである。



平成27年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
(議案第56号)

問 高齢者・障がい者地域見守り支援ネットワークとは、どのようなネットワークをつくらうとしているのか。

答 地域の方に見守っていただくのが一番と考え、地域の民生委員や自治会長、区長のほか、店舗の方、新聞配達の方などからの情報を、このネットワークを通じて、介護福祉課や地域包括センターに報告してもらい、見守りを強化していきたい。

平成28年度幸手市一般会計補正予算
(第2号)
(議案第65号)

問 街路灯設置事業補助金の内容は。

答 この補助金は、地域の街路灯設置にかかる費用の6割を補助するもので、当初予算の1千万円が、6月末にはなくなってしまう状況から補正予算を計上した。

問 母子家庭・父子家庭自立支援

給付金を増額補正した理由は。

答 母子家庭・父子家庭の父母が就職に有利な看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士などの専門資格の取得を促進し、生活負担の軽減を図ることを目的に、その修業期間に対して、給付金を支給するもので、当初4人を見込んでいたが、新たに申請者が1人増えたことにより増額補正するものである。

問 香日向地区污水管内調査業務委託料の内容は。

答 コミュニティセンター北側、香日向4丁目地内の污水管マンホール周辺が沈下し、目視したところ、污水管が破裂している可能性があることから、延長41メートルの範囲で、管内にカメラを入れて、調査するものである。

問 幸手小学校校舎大規模改修工事を減額補正した理由は。

答 平成28年度当初予算で実施予定であったが、急きよ国の補助金が付くこととなった。それにより、平成27年度補正予算に計上し、平成28年度予算に計上したものを全額減額するものである。

建設経済常任委員会

平成27年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定 (議案第53号)

問 農業振興費特別栽培米の販売促進委託料60万円とあるが、幸手産米のブランド化推進策は。

答 特別栽培米をリード役として、付加価値化、高品質化、認知度向上で販売を拡大して行く。



問 戦略的作物推進事業補助金13万821円の補助件数は。

答 経営所得安定や農身体質強化につながるような戦略的作物を生産する農家への助成で、該当者は加工用米12人、飼料用米38人、米粉用米9人、特別栽培米5人、大豆38人、飼料作物3人である。

問 ハッピーハンド事業の補助金額が以前より減っている。要因は。

答 候補者の投票にかかる経費と、手形をいただく交渉にかかる費用

は計上しているが、招聘がかなわないということとその部分を対象から外しているのがここ数年の経緯である。

問 都市公園等指定管理業務委託の税務会計処理は協定書どおり行われているのか。

答 代表団体と機構団体が企業グループを作り、税務会計処理は代表団体が担っている。基本協定書では、収入と収支の流れが分かるように別途、企業体単独の口座の設置を定めており、適正に処理されていると考えている。協定書はグループ内の経費区分、税務会計上の処理にまで踏み込んだ表現となっていない。

問 前年度比評価点が低いが。

答 昨年10月に業務改善勧告を行ったことを考慮。評価点を下げた。

問 上高野地区区画整理事業への技術的援助として市は調査設計業務委託料を支出しているが、もう少し慎重に扱うべきではないか。

答 地元権利者組織から技術的援助の申請があり、測量データを市が整備貸与する支援がベストと考えた。地元準備会は平成28年度末を目標に住居系の区画整理で動いていたが、埼玉県の線引き見直しがあり、実現は厳しく再検討すること。

平成27年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第59号)

問 家屋等移転補償は当初の予定どおりの進捗か。

答 当初5名7棟であったが、国の補助金減額等の影響で3名3棟を対象に交渉。全員が移転に合意。

平成27年度幸手市水道事業会計決算の認定 (議案第60号)

問 幸手市は昭和40年代後半にかけて多くの水道管を布設した。現在では全体の6分の1が耐用年数を超過しているが、老朽管の改修率、今後の改修計画は。

答 40年超の管路が22キロほどある。管路の改修計画は1年1億6700万円を基準に、60年を目安に更新していきたい。現在、改修は石綿管をメインに進めている。平成27年度末の石綿管の残延長は、導入管が1.5キロ、排水管が9.8キロである。

平成28年度幸手市一般会計補正予算 (第2号) (議案第65号)

問 農地費の土地改良区特認事業補助金の内容は。

答 中島用水路土地改良区の取水障害に対する事業を特認事業として補助するもの。

問 古川橋架替工事は国の補助金が28・7%ついたが市は交付率が26%と低い方の駅舎事業を進め、同工事を減額延期。得策と思えないが。

答 一般財源を投入すれば今回の配分率で事業は可能だが、重点プロジェクトの見直し段階では決算が確定しておらず、そこまでの判断はできなかった。

市政に対する 一般質問

今定例会では、12人の議員が9月2日、5日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- 男女共同参画の推進について
- 「パーキング パーミット制度」の導入について

本田謡子議員

- 子どもを守る環境づくりについて
- 幸手市の公共施設予約システムについて

青木 章議員

- 日本保健医療大学について
- 幸手市小、中学生の学力について
- 幸手市内商工業者支援について

小林順一議員

- 食品ロスの削減について
- 「コンビニ健診」の推進について

小河原 浩和議員

- 幸手産農産物の今後のブランド戦略について

大平 泰二議員

- 水害対策の進捗状況
- 都市公園指定管理
- エアコンの設置
- 平成33年度までの財政と重点プロジェクトについて

藤沼 貢議員

- 可燃ゴミ処理施設について
- 台風9号の被害状況について

中村孝子議員

- 各種市事業の決定・見直しについて
- 東武特急スペーシアの幸手駅停車について
- 幸手駅西口地区土地区画整理事業について

松田雅代議員

- 財政支出を削減した幸手駅舎・自由通路建設を求める民意（要望・陳情）への対応について

宮杉勝男議員

- 駅舎建設について
- 市の財政予測について
- 古川橋について
- 水害対策について
- エアコン設置について
- 市庁舎について
- 済生会栗橋病院移転について

木村治夫議員

- 若者の定住促進について
- 日光街道幸手宿への新たなひとの流れをつくることについて
- 男女の出会いの場の創出について

武藤 壽男議員

- 幸手市の戦後の未処理課題について伺う
- 市長および職員の市民や議員等への対応について伺う



本田 諤子議員

利用しやすい公共施設予約システムを

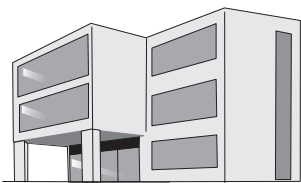
Q

市のホームページから予約できる公共施設は、全ての施設ではない。身近な公民館などは、直接担当窓口へ問い合わせしなければならない。

利用しやすいを考えれば、全ての公共施設がインターネット予約システムに表示され、予約できないものか。今までの経緯とこれからの対策について伺う。

A

現在、予約システムに入っていない施設については、それぞれの施設が持つ特性や事情から、施設や担当課の窓口で予約状況を確認し、利用申請書等の所定の書類を提出のう



え、ご利用をいただいている。今後、システム化を検討していく場合には、個々の施設の課題を解消するとともに、施設予約の基準の統一性を図る必要があるため、施設を所管する部署同士の検討や調整が必要になってくるものと考えている。

(総務部長)



小林 啓子議員

「パーキングパーミット」制度の導入は

Q

パーキングパーミットとは、身体障がい者用駐車場を利用する際利用許可証を発行する制度である。導入背景には、健常者による不正な駐車が目立つためである。

幸手市において、現在の利用対象者について伺う。

また、川口市、久喜市等においては既にパーキングパーミット

A

市が設置する各公共施設等の障がい者用駐車場については、身体障がい者に限らず、高齢者、障がい者、妊産婦等、日常生活又は社会生活に行動上の制限を受ける方も含め利用できるものと考えている。

また、制度の導入については、市内だけでなく、広域で実施す

ト制度を導入しているが、幸手市としても今後、導入しては如何か伺う。

ることにより効果が期待されることから、今後、県や近隣市町の動向に注視しながら、広域の動きがあれば、実施に向けて進めていきたい。

(健康福祉部長)



幸手市小中学生の学力向上にむけて



青木 章議員

Q

子どもは地域の宝であり、親はもとより、地域で子どもを育て「生きる力」を身に付けてもらいたい。また、今の幸手市で学ぶ子どもたちが将来日本や世界で活躍する人材として育って欲しいと思う。そこで、幸手市小中学生の全国学力学習状況調査の結果について全国、県内と比した現状について伺う。

A

また、埼玉県で推進する「協調学習」（アクティブ・ラーニング）を導入し市内小中学生の学力アップに努力してもらいたい。教育委員会の対応を伺う。

全国学力・学習状況調査の結果では、幸手市の平均正答率は県や全国と比べ、全教科で下回るという憂慮すべき状況にある。そこで、幸手市では、全国学力・学習状況調査の結果分析と活用、教師の指導力

向上の取組、基本的な学力の定着を図る環境の整備という3つの柱で、確かな学力の育成に取り組んでいる。また、「アクティブ・ラーニング」の手法を取り入れ、研修や研究授業を通して教師の指導力を向上させ、児童生徒の学力向上を目指す。

（教育長）



「コンビニ健診」の早期実施を



小林順一議員

Q

他の自治体ではコンビニと連携し、市民が健康状態を把握できるよう進められている。個人事業主や専業主婦などは定期的な健康診断を受ける機会が少なく特に若い世代の健康診断受診率の低さが指摘され、潜在的な生活習慣病予備軍や重症者の掘り起し、市民の健康寿命の延伸を目的にコンビニと健

A

康協定を締結し受診率向上を目指すべきである。生活習慣病予防の啓発事業の推進計画を伺う。コンビニ健診を幸手市でも実施を提案するが所見を伺う。



化予防」を掲げ、専門医の講話や運動習慣定着・食生活改善の教室などを実施している。また、健診受診率向上に向けたPR活動や集団健診の土日・がん検診同時実施、個別健診の対象年齢拡大を行なった。コンビニ健診は若い世代の受診率向上効果が報告されているが、当市では今後も個別健診や市内公共施設での集団健診の充実を図るとともに受診状況により検討したい。

（健康福祉部長）



大平泰二議員

駅舎見直し署名7521筆に市長責任は

Q

市の新たな負担が12億円ふえた民間橋上駅舎建設計画に対し3種類の、幸手駅舎と東西自由通路建設見直しを求める署名合計7千521筆が提出された。渡辺邦夫市長にも同様の署名が提出されている。

この駅舎建設見直し署名の重さをどう受け止めるか、市長には、重い責任があると考えるが

A

今回いただいた署名については、貴重な意見として真摯に受け止めている。交付金の交付率が厳しかったため、重点事業の再検討を行ったところ、一定の財政規律を堅持したうえで、現行の自由通路および橋上駅舎の計画にて整備を進めることができるかと判断した。事業費の削減についても検討したが、利便性や様々な利用の可能性



(市長)

性を大きく損なうことになる。孫子の代へと引き継いでいく施設であるため、現行計画にて進めることが最善であると考えている。



小河原浩和議員

幸手産農産物の今後のブランド戦略は

Q

このたび、ゾマホン・ルフィン氏が「幸手市お米大使」に任命された。渡辺市長が提言されている「幸手産コシヒカリのブランド化」がまた一歩前進した。

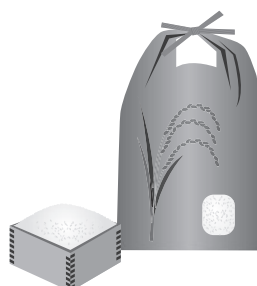
今後の幸手産のお米や農産物のブランド戦略を伺う。また、ブランド化に向けた課題や問題点、強力体制を伺う。

A

幸手産米のブランド戦略としては、特別栽培米の増産や市外に向けた情報発信等、お米の高付加価値化の追求や、認知度向上のための取組を行っていきたいと考えている。

課題や問題点としては、食味や品質、安心・安全の確保、適正な流通の確保、消費者の意見の反映などがあげられる。

ブランド化の推進にあたっては、埼玉みずほ農協との連携・協力を継続しながら、各関係機



関や生産者団体との連携・協力についても検討していきたい。
(建設経済部長)

台風9号の被害状況は



藤沼 貢議員

Q

道路被害、水路被害、農作物被害、住宅被害、その他の被害について調査されたのか。特に住宅被害、農作物の被害状況は把握されているのか伺う。

A

台風接近に合わせて、市では事前に仮設ポンプを設置し、排水作業を行った。道路冠水による交通規制が東さくら通りで2回発生し、冠水により汚れがひどかった道路は清掃を行った。今回の台風は風も強かったことから、公園などにある高木が4本倒れた。

水路等の施設や水田等の農作物に被害は認められず、農業関係機関にも被害の報告はなかった。



(市民生活部長・建設経済部長)

市の事業決定・見直しのプロセスは



中村孝子議員

Q

今度の駅舎整備事業は、国の補助金交付が予定の半分以上となったにもかかわらず、総合振興計画および創生総合戦略に掲げている点を前提として、建設ありきの財源の組み替えで市の負担が増大。総振にある庁舎整備計画は度々その手法が替えられている。財政に見合う事業規模への見直しを求め

A

市の事業決定・見直しのプロセスについては、各部署において実施計画を立案し、決裁行為により事業を決定しているが、事業の内容によっては、庁議や政策調整会議などの合議を経て決定している。

例えば駅舎整備事業に関しては、交付金の内示を得た後、市長の指示により関係部署で検討を行い、事業計画について経費節減と事業効果を考慮した見直しを行い、資金計画については財源の組み替えによる財源確保といった見直しを行ったものである。

(市長)

署名7521名の民意が求めるものは



松田雅代議員

Q

駅舎整備事業が、国費2年連続低配分となったことを受け、今般、市民による署名活動で表された民意は、「財政支出を削減した」「財政力に見合った」「財政負担の少ない」建設を求めるものである。

まちは、いろいろな意見を持った人の集合体であり、その民意をすい上げ合意を形成する

A

交付金の交付率が厳しかったため、重点事業の再検討を行ったところ、一定の財政規律を堅持したうえで、現行の自由通路および橋上駅舎の計画にて整備ができると判断した。孫子の代へと引き継いでいく施

設であるため、安全で利便に優れた現行計画にて進めることが最善であると考えている。予算編成では要綱に定められた交付率である55%を予定することが通例であり、交付金の配分については、国が定める予算の範囲内で行われるため予測は困難である。

(市長)



駅舎の整備は



宮杉勝男議員

Q

(1) 駅舎・自由通路建設および西口開発事業に多額な予算がかかるために、平成29年度から3年間赤字になるが、赤字にならないような計画にすることはできないか伺う。

(2) 平成27年度歳入歳出の差し引き残額が約10億円あるが、すべて駅舎建設のために使うのか伺う。

A

(1) 計画は、赤字ではなく資金不足によるもので、基金の一部を取崩し、繰入れすることにより収支の均衡を保つこととしている。

(2) 平成27年度決算における歳入歳出差引額から次年度に繰越すべき財源を除き繰越金とするが、

(3) 駅舎完成後の平成32年度には歳入歳出の差し引き残額が1200万円となるが、幸手市の事業推進は維持できるのか伺う。

特定の事業に充当せず、全て一般財源となるため、直接的に駅舎建設事業に充当するものではない。

(3) 平成32年度は、次年度への繰越金額にかかわらず、基金を取崩すことなく事業を実施できる見込みとなっているため、事業推進は維持できると考えている。

(総務部長)

若者の定住促進策を問う



木村治夫議員

Q

若い世代の就職に伴う転出に歯止めをかけるためには、市内での雇用機会を拡充することが重要であると考えますが、市の見解を伺う。

平成28年度、庁舎内にふるさとハローワークが開設される予定であるが、具体的内容について伺う。

就職希望者と企業のマッチン

A

グ支援について、具体的方策について伺う。

市としても若い世代の就職に伴う転出に歯止めをかけるため、市内の雇用機会の拡充は必要と考える。今後幸手中央地区産業団地進出企業の開業が順次始まることから、春日部ハローワークや県と協力して就職支援セミナーや合同就職説明会を開催するなどでマッチング支援をしていく。また、ふる

さとハローワークは市役所第2庁舎1階に、相談員3名と求人情報を自由に閲覧できる情報端末5台を設置し、2月1日を開設日として現在準備を進めている。

(建設経済部長)



幸手市の戦後の未処理課題について伺う



武藤寿男議員

Q

戦後71年を経過し、当時を知る世代も少なくなっている。次の世代に現在の平和と繁栄が多くの犠牲のもとにあることを伝承していかなければならない。

戦没者の偉業を伝えるため、市町の関わりのなかで忠霊塔や忠魂碑などが建立された。現在、場所もまちまちである

A

長い期間引き継がれて管理され、人々の魂が入った忠魂碑や忠霊塔の管理は、引き続き地域の方が行うことが最良と考えるが、管理が困難とな

が、今後の管理をどのようにするのが良いと考えているか伺う。国や県の追悼式に準じて、遺族の高齢化と世代交代もあり、多くの市民が参加できるよう、市長主催の追悼式にはどうか伺う。

った場合は、関係者と十分協議して対応していく。

戦没者慰霊祭を幸手市遺族会主催で行っているが、遺族の方々の高齢化が進むなどの理由により、幸手市遺族会での実施が困難となった場合には、関係者と協議して、どのような形で追悼を行うか考えていく。

(健康福祉部長)

9月定例会

傍 聴 者

73人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数

インターネットを利用した議会中継
(ライブ及び録画)を行っております。

7月	219件	8月	454件	9月	4,036件
----	------	----	------	----	--------

の方が視聴されました。

議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。



「心よりご冥福をお祈りします」
巻島幸男議員が8月17日に逝去されました。故人の生前の活躍をしのび、安らかなるご冥福をお祈りします。

〔略歴〕
平成27年4月市議会議員に初当選。
総務常任委員会委員、文教厚生常任委員会委員、利根川栗橋流域水防事務組合議会議員、都市計画審議会委員を勤めました。

幸手市都市公園等指定管理業務調査特別委員会

市議会では昨年9月より『幸手市都市公園等指定管理業務調査特別委員会』を設置し、平成26年度から業務委託をしている指定管理者の事業執行の状況を調査してきました。

第11回特別委員会では、副市長、総務部長をはじめ、担当部課長出席のもと、前回の特別委員会において提出を求めていた平成26年度事業収支(改訂版)の提示があり、説明を受けました。

第11回

開催日 平成28年7月19日(火)
調査・審査内容

- ・ 平成26年度事業収支の訂正に係る説明に基づく質疑応答
- ・ 平成26年度事業収支の仕訳先訂正書類の提出を請求
- ・ 次回の特別委員会の進め方について



9月定例会 会期日程

- 9月1日(本会議)
- ・ 開会・会期の決定・報告事項
 - ・ 市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 9月2日・5日・6日(本会議)
- ・ 市政に対する一般質問
- 9月12日(本会議)
- ・ 議案に対する質疑
 - ・ 議案の委員会付託
- 9月13日・14日・30日(委員会)
- ・ 文教厚生常任委員会
- 9月15日(委員会)
- ・ 総務常任委員会
- 9月12日・20日・21日(委員会)
- ・ 建設経済常任委員会
- 9月30日(本会議)
- ・ 委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・ 閉会

12月定例会のお知らせ

11月30日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.city.satte.lg.jp/>

平成28年9月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 改革…改 先進…先 自民クラブ…自 日本共産党…共 無所属…無

(○：賛成 ×：反対 退：退席)

(市長提出議案)

議案番号	議席番号・議員名 議案名	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	付託委員会	本会議 議決結果
		大山重隆(無)	小林啓子(公)	小河原浩和(改)	本田謡子(改)	松田雅代(先)	宮杉勝男(無)	木村治夫(自)	小林順一(無)	中村孝子(先)	藤沼貢(自)	青木章(無)	手島幸成(無)	武藤壽男(無)	大平泰二(共)		
議案第52号	平成27年度幸手市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第53号	平成27年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数認定
議案第54号	平成27年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第55号	平成27年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数認定
議案第56号	平成27年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成多数認定
議案第57号	平成27年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第58号	平成27年度幸手市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第59号	平成27年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数認定
議案第60号	平成27年度幸手市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第61号	幸手市議会議員及び幸手市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例及び幸手市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第62号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第63号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第64号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第65号	平成28年度幸手市一般会計補正予算（第2号）	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数可決
議案第66号	平成28年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第67号	平成28年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第68号	平成28年度幸手市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第69号	平成28年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第70号	平成28年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第71号	平成28年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数可決
議案第72号	平成28年度幸手市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第73号	副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	賛成多数同意
議案第74号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	賛成多数同意

(議員提出議案)

請願第1号	財政支出を大幅削減した幸手駅舎・東西自由通路建設を求める件	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	建設経済	賛成少数不採択
請願第2号	市の駅舎建設計画の是非を問う住民投票条例の設置を求める件	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	総務	賛成少数不採択
	大平泰二議員に対する懲罰の件	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	退	懲罰特別	賛成多数可決

議会広報編集委員

委員長 手島幸成
副委員長 小林順一
委員 大平泰二
委員 木村治夫
委員 小林啓子
委員 本田謡子
委員 松田雅代
委員 武藤壽男

編集後記

実りの秋だ。太陽を浴び風雨に耐え、人間社会に富をもたらす食料、確保するのは政治の責任だ。できない国は滅びると言われている。そのような事態を招かぬために、中央も地方も政治の果たす役割は重大だ。ある市民から「政治は倫理の前に道德だ」と指摘された。心に突き刺さった言葉だ。道德と倫理を基礎にした政治が実るのはいつの日か、今、その在り方が問われている。